再 評 価 調 書

-	—										
I 事業概要											
事	業名	砂防等事業(通常砂防事業)									
地	区名	清水沢									
事	業箇所	にしひろせちょうちない 豊田市西広瀬町地内									
	業のあ らまし	清水沢は豊田市西広瀬町に位置し、保全対象として西広瀬小学校(避難所)、人家 2 戸及び市道を抱える土石流危険渓流である。 土石流の危険性の高い渓流であり、人命などを守るため、土石流対策施設の整備を推進する。									
事	する。										
				事前評価時	再評価時	変動要因の分析					
				(2015 年度)	(2021 年度)						
		事	業期間	2016 年度~2023 年度	2016 年度~2025 年度	精査によるもの					
		事業	費(億円)	3. 0	4. 6	精査によるもの					
		.= +h	工事費	2. 3	3. 6	精査によるもの					
計画変更		経費	││田補告	0. 3	0. 2	精査によるもの					
0	D推移	内訳	その他	0. 4	0.8	精査によるもの					
		事業内容		砂防堰堤工 2基 渓流保全工 100m	砂防堰堤工 2基 渓流保全工 100m						
Ι	評価										
①事業の	1)必要性の変化		【事前評価時の状況】・保全対象を土石流から保護する必要がある。【再評価時の状況】・保全対象に変化はない。【変動要因の分析】・なし								
①事業の必要性の変化	判定		A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】								
			事業着手から必要性について変化はないため								

_	1\ \ \ # \	『★ ₩□□	. T. 48th4#1												
	1) 進捗状	【事業計画及び実績】													
	況	=m + =n=1		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	
			調査・設計	•											
		工種	用地補償 工事						← →						
		区分	<u> </u>							_					
			・ 選売工・ 渓流保全工							•					
			当初計画			2.0				1.0		_		3.0	
		事業費	実績	0.8							0.8				
		(億円)	今回計画	0.8						3.8			4.6		
		【進捗率】													
				これまでの計画に対する達成											
				計画		実績		達成率			計画	達	成率(
				(1)		(2)		(2)-	÷1)				(2)÷(3]	
		堰堤工(基)			2		0			0		2		0	
		渓流保全工 延長(m)			100		0			0	10	-	17		
		事業費(億円)			3.0 2.3		0.8	27 0		_	3.6	_	<u> </u>		
		用補			0.3		0.0	0			0.2	_	0		
② 事		その	他		0.4		0.8	200		0	0.0	3	100		
業の進捗		【施工済み ・なし	の内容】												
②事業の進捗状況及び見込み	2) 未着手 又は長 期化の 理由	・当初想定していた地形条件と現地に差異が確認され、その対応に時間を要したため。													
i ot	3) 今後の 事業進 捗の見 込み	【阻害要因】 ・特になし 【今後の見込み】 ・特に阻害要因はないため、今後は計画通りの事業進捗が見込まれる。													
	判定	A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。 【理由】													
		今後、計画通りの完成が見込まれるため。													
Ш	Ⅲ 対応方針														
	継続	中止:上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続:上記以外のもの。													

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

_

【主な評価内容】

・砂防堰堤、渓流保全工や保全対象の状況から事業効果を確認する。